



# RPCA 製品審査基準 適合証明書

証明書番号 II 21-CR120 号

會澤高圧コンクリート株式会社 殿

貴社の「RCボックスカルバート（自己治癒型）」は、当協会道路プレキャストコンクリート工技術審査委員会における審査の結果、下記のとおりRPCA 製品審査基準に適合したことを証明します。

一般社団法人 道路プレキャストコンクリート製品技術協会

会長 棚橋 聰



記

## 1. 基本事項

製品名：RCボックスカルバート（自己治癒型）

製品区分：II群製品

RCボックスカルバート 従来型（一体型）

証明書有効期間：2022年4月1日～2025年3月31日

## 2.申請区分

品種区分		申請区分	
製品区分	Ⅱ群	重要度	重要度I
大分類	カルバート工	要求性能:常時	性能I
中分類	RCボックスカルバート	要求性能:地震時	地震時検討を省略(みなし規定:L1=性能I, L2=性能II)
小分類	従来型(一体型)	規格の範囲	B×H= 600×600mm ~ 3500×2500mm
申請区分	製II-カル-1	証明の範囲	同申請区分のRCボックスカルバートと同等の性能を有することを証明します。 ※自己拘束性能を証明したものではありません。

## 3.製品審査結果

審査項目及び審査基準				判定	概要条件	
中項目	小項目			審査基準		
荷重(常時)	死荷重	自重	鉄筋コンクリート単位体積重量	$\gamma_c=24.5 \text{ kN/m}^3$	clear	
	活荷重	載荷方法	荷重	T-25活荷重に衝撃係数を乗じてのこと。	clear	
			分布荷重として載荷していること。	clear		
	土圧	粘土土圧	単位体積重量	通常 $\gamma=18 \sim 20 \text{ kN/m}^3$	clear	
			粘土土圧係数	規範や土被り、支持条件により設定(解説5-3)	clear	
		土かぶり	土かぶり	規格品の適用土被りは0.5~6.0m、規格外の土かぶり0.5m以上	clear	
			水平土圧係数	静止土圧として算定していること。	clear	
材料及び設計諸定数	活荷重による土圧			通常10kN/m <sup>2</sup>	clear	
	その他荷重			車通行時:1kN/m <sup>2</sup> 、非車通行時:3.5×積雪深さkN/m <sup>2</sup> を考慮していること。	clear	
	コンクリートの設計基準強度			RC構造: $\sigma_{ck}=30 \text{ N/mm}^2$ 以上	clear	
	鉄筋の材質			SD295, SD345	clear	
	設計計算に用いるヤング係数			道路PCa工指針第2編 コンクリート [3] 2.1 コンクリート、2.2 鋼材、[4] 2.3 設計に用いるヤング係数	clear	
	コンクリートの許容正縮応力度			道路PCa工指針第2編 コンクリート [6]~[13] 第3章 道路PCa製品に用いる材料の許容応力度	clear	
	コンクリートの許容せん断応力度			道路PCa工指針第2編 コンクリート [6]~[13] 第3章 道路PCa製品に用いる材料の許容応力度	clear	
許容応力度	鉄筋の許容応力度			道路PCa工指針第2編 コンクリート [6]~[13] 第3章 道路PCa製品に用いる材料の許容応力度	clear	
	支承力(基礎地盤の照査)、浮力			必要地耐力が示されていること。	clear	
	解析方法			許容応力度法	clear	
	部材照査	構造耐力	頂版端部	コンクリートの正縮応力度および鉄筋の引張応力度が許容応力度以下であること。 (道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] 4.3.2 曲げモーメント及び軸方向力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
			頂版支間部	コンクリートの正縮応力度および鉄筋の引張応力度が許容応力度以下であること。 (道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] 4.3.2 曲げモーメント及び軸方向力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
			底版端部	コンクリートの正縮応力度および鉄筋の引張応力度が許容応力度以下であること。 (道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] 4.3.2 曲げモーメント及び軸方向力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
			底版支間部	コンクリートの正縮応力度および鉄筋の引張応力度が許容応力度以下であること。 (道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] 4.3.2 曲げモーメント及び軸方向力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
			側壁端部	コンクリートの正縮応力度および鉄筋の引張応力度が許容応力度以下であること。 (道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] 4.3.2 曲げモーメント及び軸方向力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
		せん断耐応力度	側壁支間部	コンクリートの正縮応力度および鉄筋の引張応力度が許容応力度以下であること。 (道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] 4.3.2 曲げモーメント及び軸方向力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
			頂版	発生応力度が許容応力度(補正後の値)以下であること。せん断照査位置が適切であること。(道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] ~[42] 4.3.3 せん断力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
			底版	発生応力度が許容応力度(補正後の値)以下であること。せん断照査位置が適切であること。(道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] ~[42] 4.3.3 せん断力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
			側壁上	発生応力度が許容応力度(補正後の値)以下であること。せん断照査位置が適切であること。(道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] ~[42] 4.3.3 せん断力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
	耐久性		側壁下	発生応力度が許容応力度(補正後の値)以下であること。せん断照査位置が適切であること。(道路PCa工指針第5編 カルバート工 [39] ~[42] 4.3.3 せん断力が作用する鉄筋コンクリート部材)	clear	
	鉄筋のかぶり			$\sigma_{ck}>35 \text{ N/mm}^2$ 以上の場合、25mm以上かつ鉄筋径以上 $\sigma_{ck}<30 \text{ N/mm}^2$ 以上35N/mm <sup>2</sup> 未満の場合、32mm以上かつ鉄筋径以上	clear	

## 3. 製品審査結果

審査項目及び審査基準			判定	摘要条件
中項目	小項目	審査基準		
構造細目	鉄筋のあき	粗骨材の最大寸法の5/4以上かつ鉄筋径以上 (道路PCa工指針第2編 コンクリート [14]~[18] 鉄筋コンクリート製の道路PCa製品の構造細目)	clear	
	配力鉄筋	主鉄筋量の1/6以上 (道路PCa工指針第2編 コンクリート [14]~[18] 鉄筋コンクリート製の道路PCa製品の構造細目)	clear	
	鉄筋のフック及び曲げ形状	道路PCa工指針第2編 コンクリート [14]~[18] 鉄筋コンクリート製の道路PCa製品の構造細目	clear	
	鉄筋の定着	継ぎ鉄筋に関する重ね歓手長の確認 $L_a = \alpha_{sa} \times \phi / 4 \times \phi$	clear	
	鉄筋の継手	道路PCa工指針第2編 コンクリート [14]~[18] 鉄筋コンクリート製の道路PCa製品の構造細目	clear	
	最小鉄筋量	部材断面積の0.15%以上 (道路PCa工指針第2編 コンクリート [14]~[18] 鉄筋コンクリート製の道路PCa製品の構造細目)	clear	
	最大鉄筋量	有効断面積の2.0%以下 (道路PCa工指針第2編 コンクリート [14]~[18] 鉄筋コンクリート製の道路PCa製品の構造細目)	clear	
その他の仕様	正規鉄筋	引張側の主鉄筋量の1/6以上 (道路PCa工指針第2編 コンクリート [14]~[18] 鉄筋コンクリート製の道路PCa製品の構造細目)	clear	
	基礎コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=18 N/mm^2$ 以上 (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 2.2.1 道路PCaカルバートの構造形式及び基礎地盤対策の選定)	clear	
		厚さ 100~25mm (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 2.2.1 道路PCaカルバートの構造形式及び基礎地盤対策の選定)	clear	
	基礎材	使用材料 切込み鉄石または割削石 (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 2.2.1 道路PCaカルバートの構造形式及び基礎地盤対策の選定)	clear	
		厚さ 150~250mm (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 2.2.1 道路PCaカルバートの構造形式及び基礎地盤対策の選定)	clear	
施工	無機骨材の連結構造	連結構造 水密性を確保していること (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [14]~[20] 3.1.4 道路PCaカルバートに用いる継手の要求性能と適用性)	clear	
	設計・施工マニュアル	手順 設計・施工マニュアル等に記述があること (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.7 施工管理)	clear	
		留意点 設計・施工マニュアル等に記述があること (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.7 施工管理)	clear	
製品の品質	外観	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置を規定していること (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.6 製品検査 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]~[17] 第3章 検査)	clear	
	形状寸法	検査頻度・方法、測定箇所、形状寸法及び寸法許容差、判定基準、不合格の処置を規定していること (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.6 製品検査 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]~[17] 第3章 検査)	clear	
	コンクリートの圧縮強度	試験頻度・方法、判定基準、不合格の処置を規定していること (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.6 製品検査 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]~[17] 第3章 検査)	clear	
	曲げひび割れ耐力	試験頻度・方法、載荷荷重、判定基準、不合格の処置を規定していること (道路PCa工指針 第5編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.6 製品検査 道路PCa工指針 第3編 製造 [16]~[17] 第3章 検査)	clear	
材料の品質	品質	使用する材料の品質を規定していること (道路PCa工指針 第4編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.6 製品検査 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]~[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)	clear	
	受入検査	検査頻度・方法・項目、判定基準、不合格の処置を規定していること (道路PCa工指針 第4編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.6 製品検査 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]~[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)	clear	
	貯蔵	貯蔵の管理方法を規定していること (道路PCa工指針 第4編 カルバート工 [6]~[10] 第4章 道路PCaボックスカルバートの設計と施工 4.6 製品検査 道路PCa工指針 第3編 製造 [5]~[9] 第2章 道路PCa製品の製造 2.1 製造方法 2.1.2 材料の受入と貯蔵)	clear	
	特殊な材料	コンクリート品質に悪影響を及ぼさないこと (コンクリート品質に悪影響を及ぼさないことが証明された材料であること)	clear	

審査委員会

委員長

宮川豊

